

## 6. 技能実習制度（介護職種）入国後講習用教材

平成29年度 社会福祉推進事業 「介護分野における技能実習制度の  
標準的な教育プログラムに関する調査研究事業」

# 技能実習制度 (介護職種) 入国後講習用教材

平成30年1月  
一般社団法人シルバーサービス振興会



## はじめに（監理団体の皆様へ）

平成29年11月1日に「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」が施行され、新たに介護職種が追加されることとなりました。介護職種においては告示にて、技能実習生の入国後講習として日本語科目と技能等の習得等に資する知識の科目的受講が求められ、それらの講習は監理団体（企業単独型の場合は申請者）が実施するものとされています。

この講習用教材（以下、「教材」という。）は、当会が厚生労働省より受託した平成29年度社会福祉推進事業の調査研究として、告示で示された技能等の習得等に資する知識の科目的教育内容を具現化したものです。教育内容に含まれるべき事項は「介護職種について外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律施行規則に規定する特定の職種及び作業に特有の事情に鑑みて事業所管大臣が定める基準等」について（通知）を参考として、技能実習生が介護職として働く前に知っておいてほしい「介護の仕事」について学習できるよう作成しました。

内容は技能実習生が理解しやすいよう、「介護の仕事を支える考え方」と「介護の仕事に必要な知識と技術」の二部構成とし、全体的にイラストを多く用い、平易な日本語を使用し、漢字にはすべてふりがなを付しています。また、介護の現場でよく使用する専門用語、体の名称、疾病や症状等については、入職後も困らないようにあえて漢字表記としています。「介護の仕事に必要な知識と技術」では、介護の根拠や思考過程を理解してもらうため、まずは生活行為の意義、環境、体や姿勢の名称、必要な物品等を学習したうえで、介護技術を学べるような構成としています。

なお、この教材は、告示・通知で示されている内容をもとに、技能実習生にとって理解しやすい表現になるよう工夫しています。「本書の使い方」に、告示・通知で示された教育内容と教材の対照表を掲載していますのでご参照ください。今後、監理団体の皆様が、この教材を入国後講習の教材としてご活用いただくことにより、技能実習生が介護の仕事の理解を深められるよう、期待しております。

平成30年1月

一般社団法人シルバーサービス振興会

## 教材の使い方（監理団体の皆様へ）

### 1. 教材の対象者

この教材は、監理団体の皆様が介護の技能実習における入国後講習を行う際に、「技能等の習得等に資する知識の科目」でご活用いただける教材です。これから介護職として働く技能実習生が使用することを想定して作成しています。

### 2. 教材の目的

この教材は、告示・通知にて示された教育内容とそれに含まれるべき事項を、調査研究をもとに検討した標準的な内容の教材になります。技能実習生の前職や知識にあわせて、監理団体で適宜内容を補う等してご活用いただけます。

### 3. 教材の特徴

この教材に出てくる言葉は、日本語能力検定N4程度の技能実習生でも理解しやすいよう、できるだけ平易な日本語で表現する等の工夫をしています。ただし、介護の現場でよく使用する専門用語、体の名称、疾病や症状等については、入職後に困らないようあえて漢字表記としています。

また、技能実習生に日本の介護のイメージが湧くよう、イラストを多用する工夫をしています。

### 4. 教材の構成

この教材は二部構成となっており、Part 1「介護の仕事を支える考え方」とPart 2「介護の仕事に必要な知識と技術」に分類しました。まずPart1では、介護職はどのような人たちを支援するのか、何を大切にしなければいけないのかという、介護を行ううえでの考え方について学習します。Part 2では、告示で示された介護の内容ごとに、介護の仕事に必要な知識と技術を学習していきます。

告示・通知で示された教育内容とそれに含まれるべき事項が、この教材においてどの部分に該当するか対照表を作成しておりますので、ご参照ください。

#### ＜入国後講習「技能等の習得等に資する知識の科目」の教育内容について＞

告示：教育内容	通知：教育内容に含まれるべき事項	時間数
介護の基本Ⅰ	介護職の役割、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全、介護過程、介護における尊厳の保持・自立支援	6
介護の基本Ⅱ	からだのしくみの理解、介護を必要とする人の理解（老化の理解、認知症の理解、障害の理解）	
コミュニケーション技術	コミュニケーションの意義と目的、コミュニケーションの基本的技法、形態別コミュニケーション	6
移動の介護	移動の意義と目的、基本的な移動の介護（体位変換、移動（歩行、車いす移動等）、移動介助の留意点と事故予防	6
食事の介護	食事の意義と目的、基本的な食事の介護、食事介助の留意点と事故予防	6
排泄の介護	排泄の意義と目的、基本的な排泄の介護（ポータブルトイレ、便器・尿器、おむつ等）、排泄介助の留意点と事故予防	6
衣服の着脱の介護	身じたくの意義と目的、基本的な着脱の介護、着脱介助の留意点と事故予防	6
入浴・身体の清潔の介護	入浴・身体の清潔の意義と目的、基本的な入浴の介護（特殊浴槽、チェアーバス、一般浴槽等）、入浴以外の身体清潔の方法（足浴・手浴、身体清拭）、褥瘡の予防、入浴・身体清潔の介助の留意点と事故予防	6

<告示で示された教育内容と教材の対照表>

告示：教育内容	教材の目次
通知：教育内容に含まれるべき事項	
<b>介護の基本Ⅰ</b>	<b>Part 1 介護の仕事を支える考え方</b>
介護職の役割、介護職の職業倫理、介護過程、介護における尊厳の保持・自立支援	<b>Chapter 1 介護の基本Ⅰ (介護で大切なこと1)</b>
介護における安全の確保とリスクマネジメント 介護職の安全	1 介護の考え方
<b>介護の基本Ⅱ</b>	<b>Chapter 2 介護の基本Ⅰ (介護で大切なこと2)</b>
からだのしくみの理解 介護を必要とする人の理解 (老化の理解、認知症の理解、障害の理解)	1 介護事故の予防 2 感染症の予防 3 健康管理
<b>コミュニケーション技術</b>	<b>Chapter 3 介護の基本Ⅱ（利用者の理解）</b>
コミュニケーションの意義と目的 コミュニケーションの基本的技法 形態別コミュニケーション	1 人間の体 2 老化（体の変化） 3 老化（病気と症状） 4 障害 5 認知症
<b>移動の介護</b>	<b>Chapter 4 コミュニケーション技術</b>
移動の意義と目的 基本的な移動の介護 (体位変換、移動（歩行、車いす移動等)) 移動介助の留意点と事故予防	1 コミュニケーションの基本 2 利用者とのコミュニケーション 3 職員とのコミュニケーション
<b>食事の介護</b>	<b>Part 2 介護の仕事に必要な知識と技術</b>
食事の意義と目的 基本的な食事の介護 食事介助の留意点と事故予防	<b>Chapter 1 移動の介護</b>
<b>排泄の介護</b>	<移動の意義>
排泄の意義と目的 基本的な排泄の介護 (ポータブルトイレ、便器・尿器、おむつ等) 排泄介助の留意点と事故予防	1 移動の介護で必要な知識 2 移動の介護の流れ
<b>衣服の着脱の介護</b>	<b>Chapter 2 食事の介護</b>
身じたくの意義と目的 基本的な着脱の介護 着脱介助の留意点と事故予防	<食事の意義>
<b>入浴・身体の清潔の介護</b>	1 食事の介護で必要な知識 2 食事の介護の流れ
入浴・身体の清潔の意義と目的 基本的な入浴の介護 (特殊浴槽、チャアーバス、一般浴槽等) 入浴・身体清潔の介助の留意点と事故予防 入浴以外の身体清潔の方法 (足浴・手浴、身体清拭) 褥瘡の予防	<b>Chapter 3 排泄の介護</b>
	<排泄の意義>
	1 排泄の介護で必要な知識 2 排泄の介護の流れ
	<b>Chapter 4 衣服の着脱（身じたく）の介護</b>
	<身じたくの意義>
	1 身じたくの介護で必要な知識 2 衣服の着脱の流れ
	<b>Chapter 5 入浴・身体の清潔の介護</b>
	<入浴の意義>
	1 入浴の介護で知っておく知識 2 入浴の介護の流れ 3 入浴以外の体を清潔にする方法 4 褥瘡の予防

## もくじ

はじめに (監理団体の皆様へ) ..... I
教材の使い方 (監理団体の皆様へ) ..... II

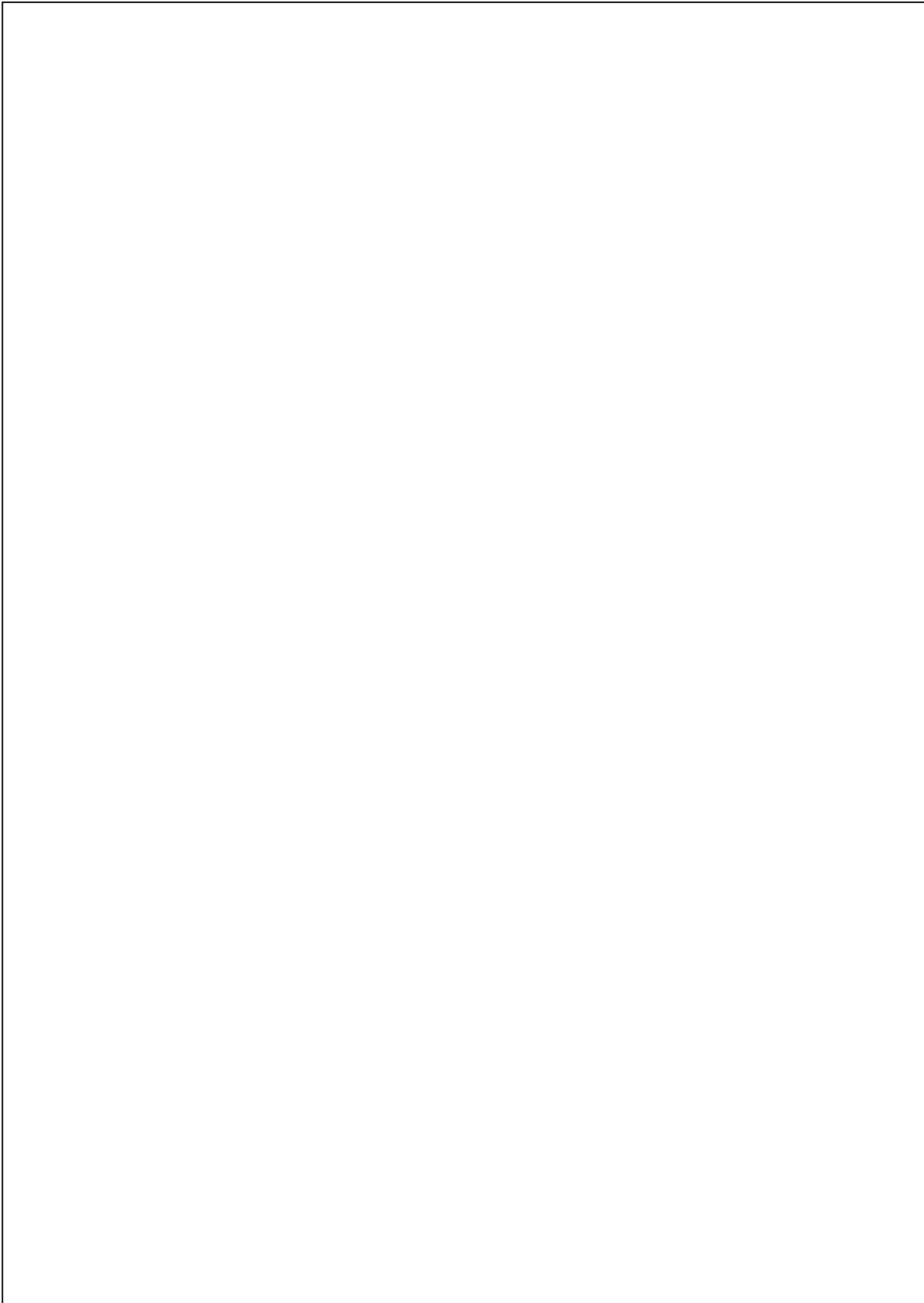
### Part1 介護の仕事を支える考え方 ..... 1

<b>Chapter1 介護の基本I (介護で大切なこと1)</b> ..... 2
① 介護の考え方 ..... 2
<b>Chapter2 介護の基本I (介護で大切なこと2)</b> ..... 6
① 介護事故の予防 ..... 6
② 感染症の予防 ..... 7
③ 健康管理 ..... 9
<b>Chapter3 介護の基本II (利用者の理解)</b> ..... 10
① 人間の体 ..... 10
② 老化 (体の変化) ..... 13
③ 老化 (病気と症状) ..... 14
④ 障害 ..... 16
⑤ 認知症 ..... 18
<b>Chapter4 コミュニケーション技術</b> ..... 20
① コミュニケーションの基本 ..... 20
② 利用者とのコミュニケーション ..... 22
③ 職員とのコミュニケーション ..... 24

### Part2 介護の仕事に必要な知識と技術 ..... 27

<b>Chapter1 移動の介護</b> ..... 28
<移動の意義> ..... 28
① 移動の介護で必要な知識 ..... 29
② 移動の介護の流れ ..... 31
<b>Chapter2 食事の介護</b> ..... 34
<食事の意義> ..... 34
① 食事の介護で必要な知識 ..... 34
② 食事の介護の流れ ..... 37
<b>Chapter3 排泄の介護</b> ..... 40
<排泄の意義> ..... 40
① 排泄の介護で必要な知識 ..... 41
② 排泄の介護の流れ ..... 43

<b>Chapter4 衣服の着脱（身じたく）の介護</b>	46
<身じたくの意義>	46
① 身じたくの介護で必要な知識	47
② 衣服の着脱の流れ	50
<b>Chapter5 入浴・身体の清潔の介護</b>	52
<入浴の意義>	52
① 入浴の介護で知っておく知識	53
② 入浴の介護の流れ	55
③ 入浴以外の体を清潔にする方法	58
④ 褥瘡の予防	59
<b>索引</b>	60



Part

1



# かいご 介護の仕事を ささかんがかた 支える考え方

## Chapter 1

# 介護の基本 I (介護で大切なこと 1)

### 1 介護の考え方

- 介護職は、利用者とかかわるとき、「人間の尊厳」と「自立支援」を大切にします。
- 利用者は、介護職が働く施設などで、介護を受ける人たちです。
- 介護で大切なことは、「利用者主体」という考え方です。



- 介護職は、利用者の状態を見て、利用者が希望する生活を支援します。



- 介護職は、利用者が持っている力を活かします。



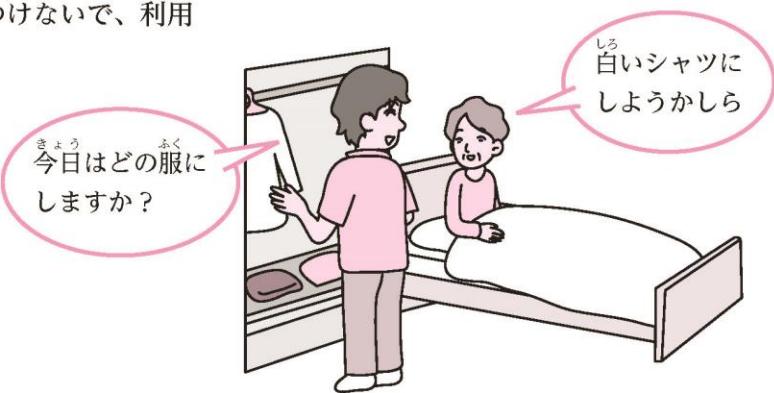
#### 言葉の意味

【活かす】……じょうずに使うこと

- 介護職は、利用者の尊厳やプライバシーを大切にします。
- 介護職は、「専門職がしなければならないこと」「利用者にとって何が一番よいか」を考えて行動します。

### 介護職に求められる行動

- 介護職の考えを押しつけないで、利用者に選んでもらう。



- プライバシーを守る。



- 利用者の情報を守る。

### 言葉の意味

**【プライバシー】**……他の人に知られたくないこと

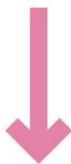
**【行動】**……すること

**【押しつける】**……相手の意思を考えないで、させること

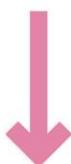
●介護職は利用者のできる力を使って、利用者に合った生活ができるように、次のような流れで介護をします。

### 介護の過程

●利用者の佐藤さんは、食事が食べられなくなっています。



●介護職は、佐藤さんが食べられない理由を考えます。



●介護職は、佐藤さんに食べてもらうための介護の方法を考えます。

●介護の方法を考えるときは、佐藤さんを支援する他の職種の人たちにも相談します。



●介護職は、佐藤さんに食べてもらえるように、食事の介護をします。

●介護職は、食堂の環境や佐藤さんが食べるときの姿勢を整えます。

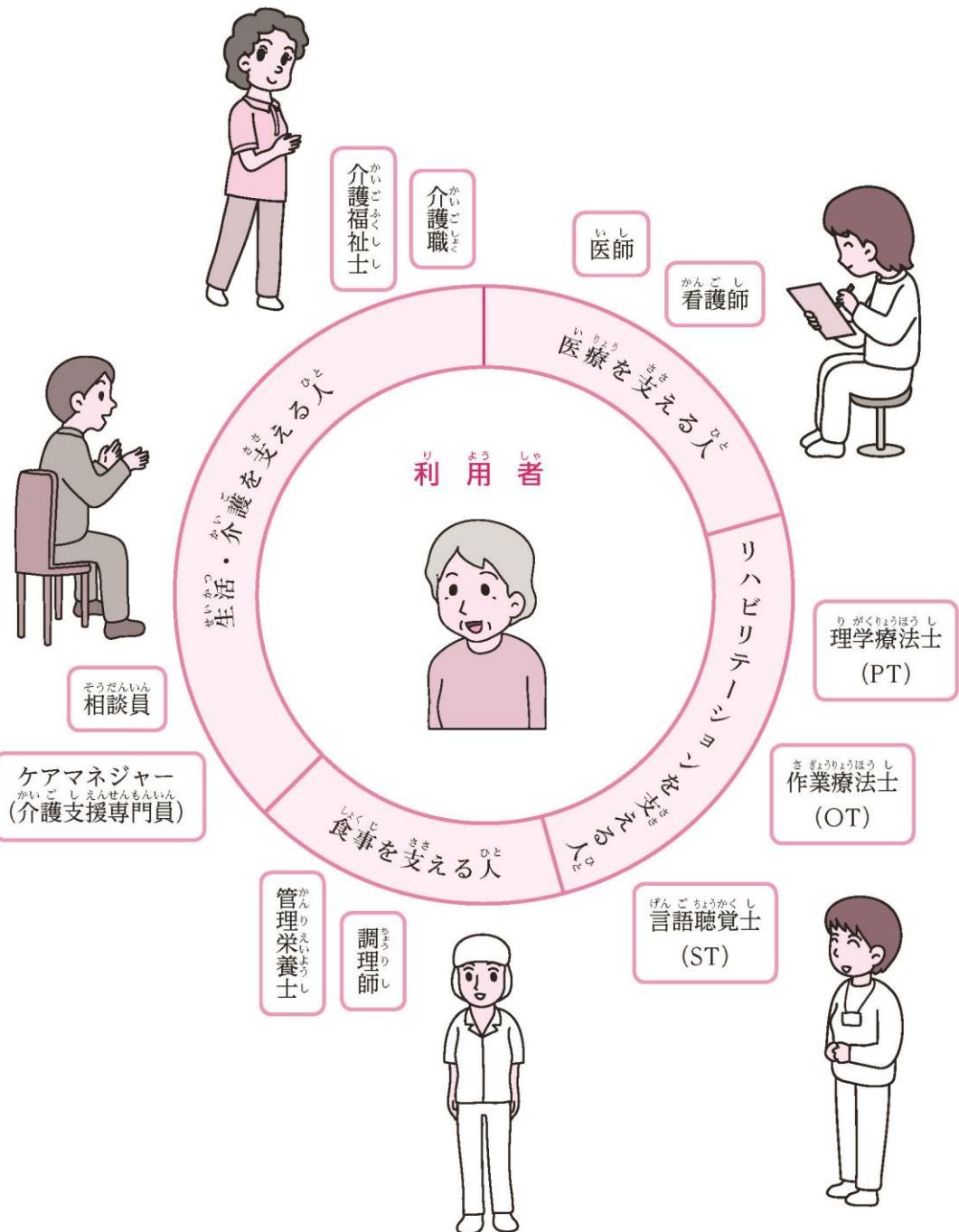


●介護職は、食事の介護をしたことで、佐藤さんが食べられるようになったかを確かめます。

### 言葉の意味

【過程】……結果までの順序

## 利用者を支援する人たち



## Chapter 2

# 介護の基本 I (介護で大切なこと 2)

### 1 介護事故の予防

- 利用者は体のいろいろなところが変化しているので、事故が起きやすいです。
- 事故が起きたときは、職員に報告します。
- 報告は、事故の予防になります。

#### 利用者の事故の例

転倒



転落



やけど



誤嚥



#### 言葉の意味

- 【誤嚥】……食べ物や飲み物が、気管に入ること  
【職員】……いっしょにはたらく人

## 2 感染症の予防

- 感染症は、病原体が体の中に入り、いろいろな症状を起こす病気です。
- 感染症になると、発熱や下痢、咳などの症状が出たり、重い病気になったりします。

### 感染源の種類

体液



血液

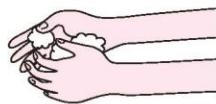


排泄物（おう吐物、尿、便）



### 感染症を予防する方法

手を洗う



使い捨て手袋を使う



うがいをする



マスクを使う



エプロンを使う



- 感染症になると人にうつし、病原を広げてしまいます。

- 介護職は、感染症にならないように注意します。

### 言葉の意味

【感染症】……感染で起こる病気

【病原体】……病気の原因になるもの

【症状】……病気やけがの状態

【使い捨て】……一回使ったら捨てる

【感染】……病原体が体の中に入ること

【予防】……ならないようにすること

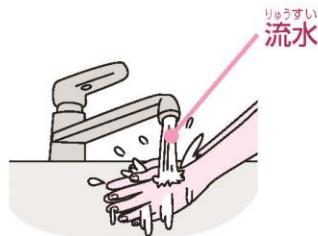
【感染源】……感染の原因になるもの

## てあらかた 手の洗い方

①指輪、時計をはずす



②手をぬらす。流水で洗う



ためた水で洗わない



③石けんを手にとる



④手のひらをあわせてこする



⑤手の甲を洗う



⑥指の先、爪の間を洗う



⑦指の間を洗う



⑧ねじり洗いをする



⑨手首を洗う



⑩水で流し、ペーパータオルなどでふく

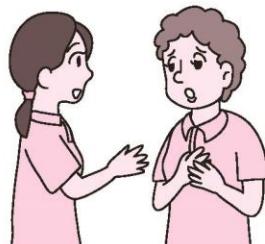


### 3 健康管理

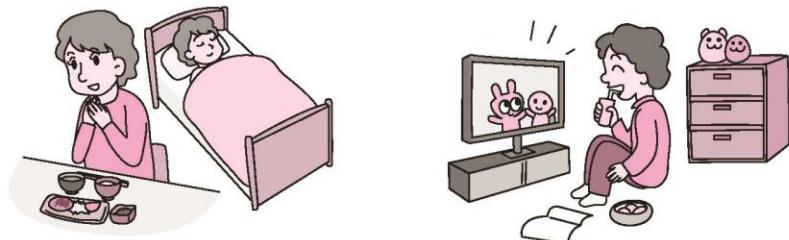
- 利用者による介護をするには、介護職は健康でなければなりません。
- 健康には、心の健康と体の健康があります。

#### 健康のための行動

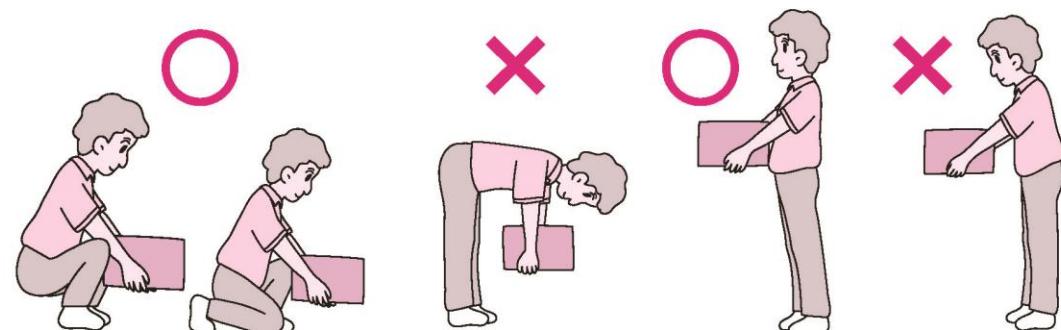
- 心の健康のために、ストレスを感じたときは、他の人に相談します。



- 体の健康のために、食事と睡眠と休養が大切です。



- 介護職は腰痛になりやすいので、気をつけます。
- 腰痛にならないように、ボディメカニクスや福祉用具を使います。



#### 言葉の意味

- 【健康管理】……健康な状態でいられるようにすること  
【ボディメカニクス】……人間の体の使い方や動かし方のこと

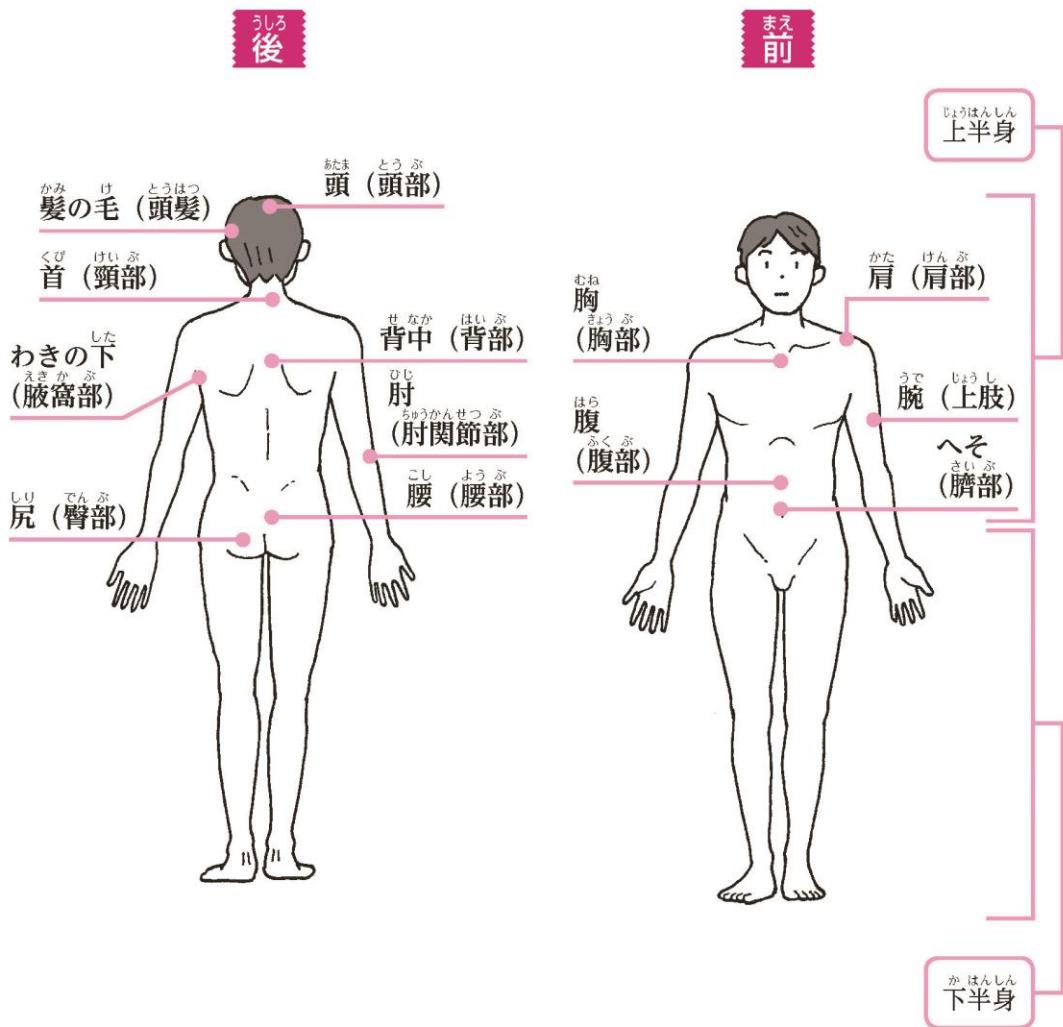
## Chapter

# 3

# 介護の基本Ⅱ (利用者の理解)

## 1 人間の体

●介護をするためには、人間の体のつくりを知ることが大切です。

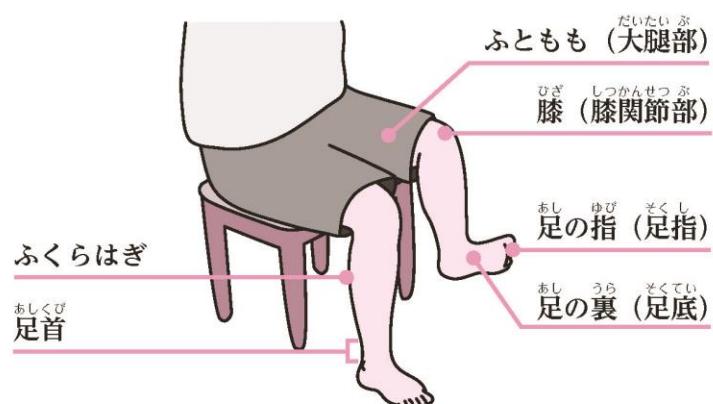


- 人間の体には、動くところと、動かないところがあります。
- 関節、首、腰は動きます。
- 関節は、肩、肘、手首、手の指、膝、足首、足の指にあります。
- 関節は、一つひとつ動く範囲や動き方が違います。

### て 手



### あし 足



### ことばの意味

**【範囲】**……どこからどこまでと、決められた広さ

Chapter 3 介護の基本 II (利用者の理解) 11

## バイタルサイン

- 体温、血圧、脈拍、呼吸、意識など、人間が生きていることがわかるサインを、  
バイタルサインと言います。
- バイタルサインで利用者の体調を確認します。
- バイタルサインの測定値は、利用者の年齢や状態によって違います。

たいおん  
体温



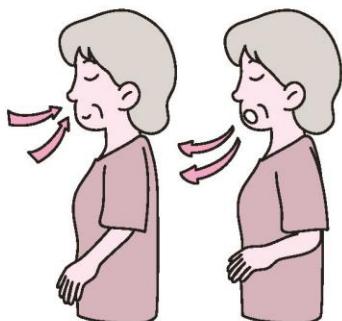
けつあつ  
血圧



みやくはく  
脈拍



こきゅう  
呼吸



いしき  
意識

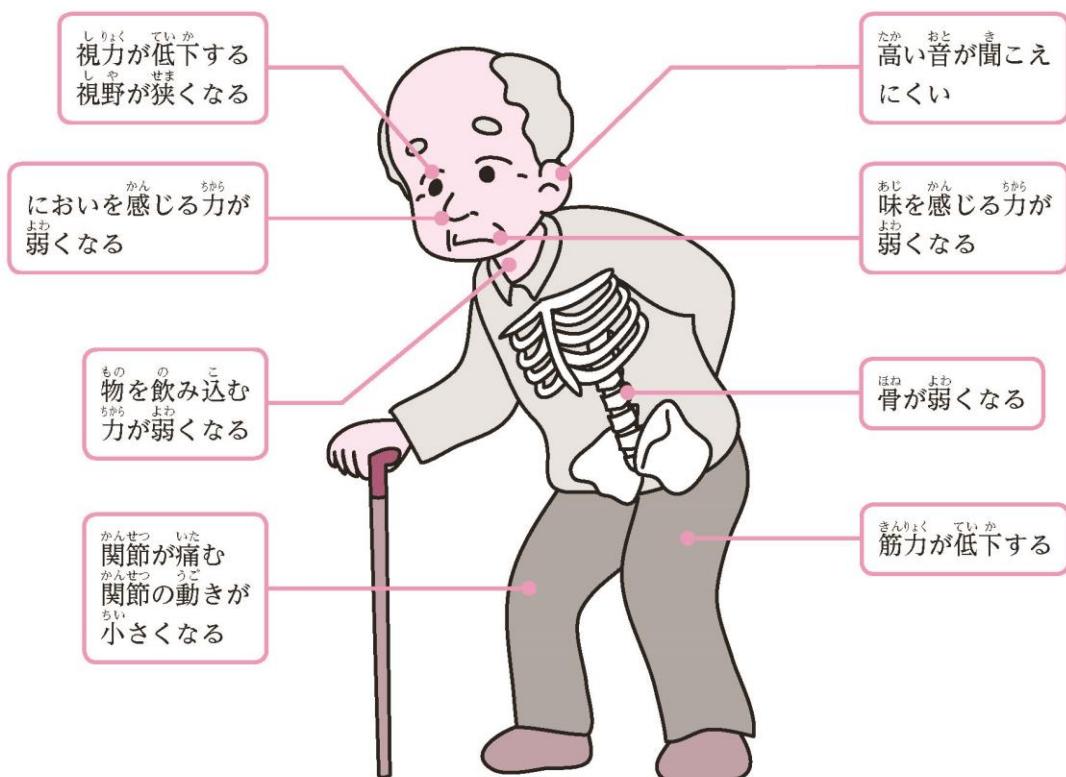
- ・目が覚めている状態
- ・自分の今の状態や、周りの状況が正しくわかっている状態

ことば  
意味

【測定値】……測ってわかる量や大きさ  
【状況】……時間といっしょに、変わるもの

## 2 老化（体の変化）

- 年をとると、体のいろいろなところに変化が起きます。
- 体の変化は、人によって違います。



### 言葉の意味

- 【変化】……変わること
- 【視力】……物を見る目の力
- 【視野】……見える範囲
- 【低下】……弱くなること

### 3 老化（病気と症状）

●年をとると、病気になることが多くなります。介護職は、病気と症状の特徴を理解します。

#### 高齢者の病気と症状の特徴

- 病気の症状が人によって違います。
- 病気になったことがわかりにくいです。
- 病気が慢性化することが多いです。

#### 高齢者に多い病気

##### 脳血管疾患

脳の血管の病気。脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など



脳の病気になると、片麻痺になることがあります。

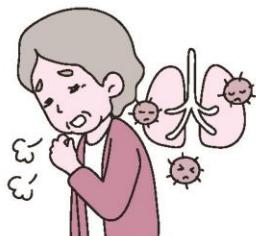
##### 心疾患

心臓の病気。狭心症、心筋梗塞など



##### 肺炎

病原体が肺の中に入つて起こる病気



##### 言葉の意味

【特徴】……他と比べて、よくわかること

【慢性化】……あまりひどくはないが、治りにくく、長く続くこと

## 高齢者に多い症状

### 便秘

便の出る回数や量が減って、腸に便がたまること



### 頻尿

尿の出る回数が増えること



### 脱水症状

体の中の水分が足りない状態



### 貧血症状

血液状態が悪くなるため、疲れたり、めまいがしたりする状態



### 言葉の意味

【量】……どのくらい

【減る】……少なくなること

## 4 障害

- 介護職は、利用者の気持ちを理解して、利用者が自立して生活ができるように支援します。
- 介護職は、障害の特徴に合わせて介護します。



### 障害の種類の例

#### 視覚障害

目が見えない（見えにくい）



#### 肢体不自由

病気・けがで、手や足などに障害がある



### ちようかく げんご しょうがい 聴覚・言語障害

き聞く、話す、読む、書くなどで困ることが  
おお多い



### ないぶ しょうがい 内部障害

からだなかぞうき しょうがい  
体の中の臓器に障害がある



### ちてきしょうがい 知的障害

ちのうはったつおくせいかつ  
知能の発達に遅れがあり、生活をするのに  
ふじゆう不自由がある

### せいしんしょうがい 精神障害

きもちくらなに  
気持ちが暗くなって、何もできなくなる。  
じぶんかんぎきもあらわ  
自分の考えや気持ちをじょうずに表せない  
など

## 5 認知症

- 認知症は、脳の機能が障害され、認知機能が低下する病気です。
- 認知機能は、記憶する、考える、判断するなどの脳のはたらきのことです。
- 認知症の症状には、中核症状と周辺症状があります。

### 【例】脳の障害で起こる症状（中核症状）

聞いたことをすぐ忘れてしまう



時間がわからない



場所がわからない



人がわからない



### 言葉の意味

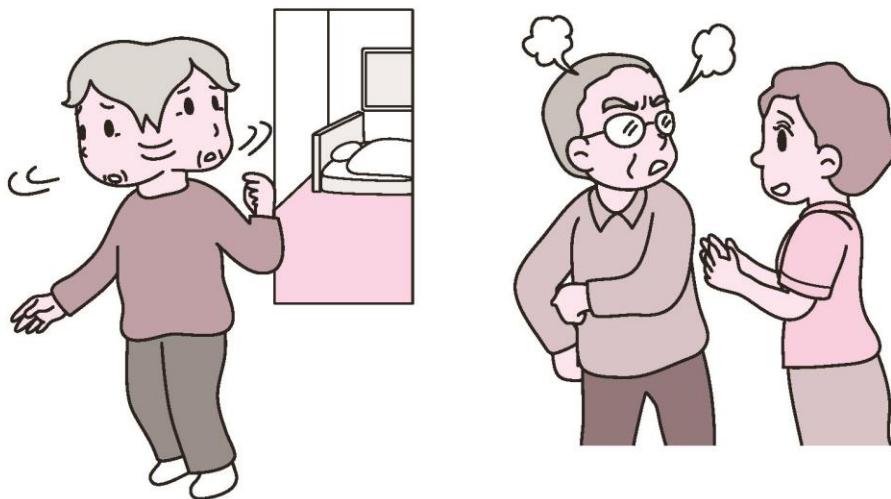
- 【認知】……わかること
- 【機能】……できること
- 【記憶する】……覚えること
- 【判断する】……よいかどうか決めること

## 環境などで起こる症状（周辺症状）の例

- (自分がいる場所がわからなくて) 歩き回る
- いない人が見える
- 気持ちが暗くなって、何もできなくなる
- 食べ物ではないものを食べる

## かかわるときに注意すること

- 介護職は、利用者の表情や行動を見て、言葉を聞いて、利用者の気持ちを考えます。
- 利用者ができないときや、失敗したときに怒ると、認知症の症状はもっと悪くなります。



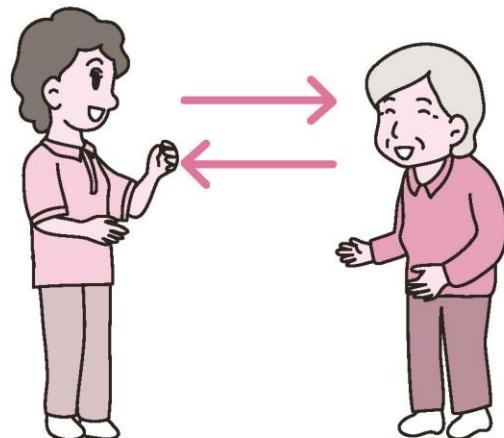
## Chapter

# 4

# コミュニケーション 技術

## 1 コミュニケーションの基本

- 利用者<sup>りようしゃ</sup>のことを知るために、コミュニケーションは大切です。
- 介護職<sup>かいごしょく</sup>はコミュニケーションで、利用者の希望<sup>りようしゃ</sup>やできることを理解<sup>たいせつ</sup>します。
- 介護職<sup>かいごしょく</sup>は、利用者の話をよく聞いて、受け止めます。

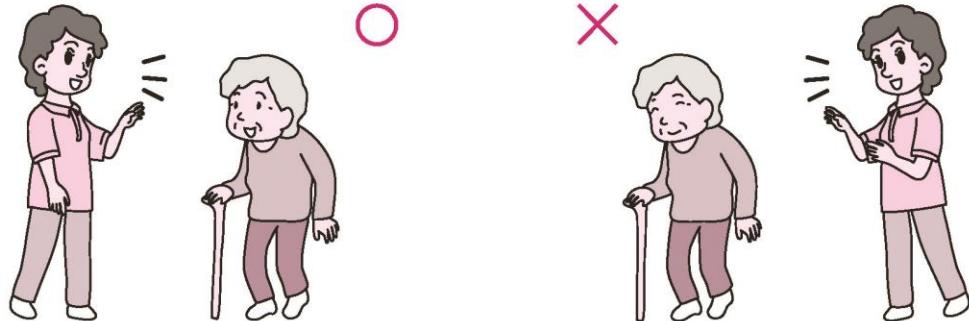


### コミュニケーションで気<sup>き</sup>をつけること

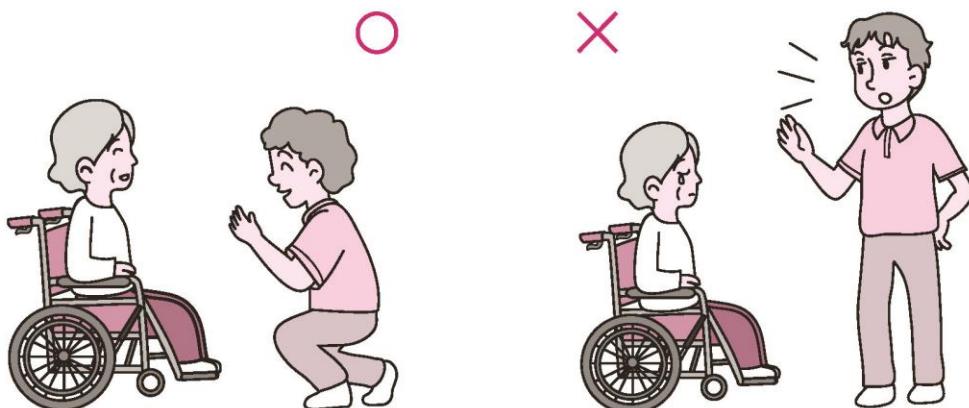
- 利用者<sup>りようしゃ</sup>の名前<sup>なまえ</sup>を呼びます。



●利用者の正面から話します。



●介護職の目と利用者の目を、同じ高さにして話します。



### 確認するときに気をつけること

●介護の現場では「確認する」をよく使います。

●介護の現場で使う「確認する」にはいろいろな意味があります。

### 確認の意味

たし  
・確かめる

りようしゃ どうい  
・利用者の同意をもらう

じょうとう じかん  
ふろ おんど  
・消灯時間やお風呂の温度など、決められていることを調べる

かいご おこな  
まえ  
りようしゃ じょうたい  
み  
・介護を行う前に、利用者の状態を見たり、聞いたり、触ったりして調べる

●確認することは、利用者の安全のために大切なことです。

●確認する内容がわからないときは、職員に聞きましょう。

## 2 利用者とのコミュニケーション

- 介護をする前に、これからどんな介護をするか利用者に説明して、介護を始めることに同意してもらいます。



- 介護職から声をかけて、利用者の状態を確認します。



### 言葉の意味

【同意】……相手の考えに同じ意見だと言うこと

●介護職は、利用者の状態に合ったコミュニケーションをします。

### 【視覚障害のある利用者】



### 【聴覚障害のある利用者】



### 言葉の意味

【手話】……手を使ってする会話

【筆談】……字を書いてする会話

### 3 職員とのコミュニケーション

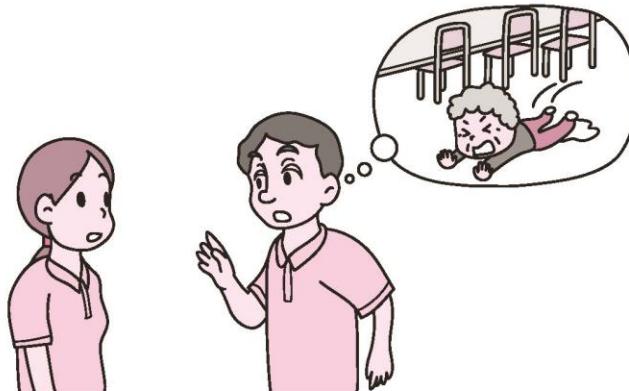
#### 報告

- 報告は、自分がした仕事を、指示した人に伝えることです。
- 事故が起きたときや、事故を見つけたときは、職員にすぐ報告します。

#### 指示された仕事が終わったとき



#### 事故が起きたとき



#### 報告の内容

- ・いつ
- ・どこで
- ・だれが
- ・何をした
- ・なぜ
- ・どのように

#### 言葉の意味

【指示する】……「～しなさい」と命令すること

## れんらく 連絡

●連絡は、必要な人に、必要な情報を知らせることです。

### じょうほう し 情報を知らせる



## そうだん 相談

●わからないことや困ったことがあるときは、ひとり なや しそくいん そうちん 一人で悩まないで職員に相談します。

### じぶん そうちん 自分から相談する



